

DJ KOMORI

Collage -ONE-



Collage -ONE- mixed by DJ KOMORI

「手を上げろ! さもないと乗り遅れるぞ!!」

数々の大舞台で数万人規模のフロアをロックしてきた DJ KOMORIだからこそ伝えることのできるフロアの熱気! そしてあの感動!
 ▶ プレイボタンを押した瞬間、そこはめくるめく最高級の"ダンスフロア"に!

★ DJ KOMORI 新曲2曲収録! ★ AZUL コラボが実現!



Special Price! 定価 ¥1,980
 (税抜価格 ¥1,886)
 SGVB-005 www.sugarbitz.com

HARLEM

"It's Absolutely Raw!"
 SPIT'EM OUT!

MONTHLY MAGAZINE
 This Magazine gives y'all Hip Hop Headz the Real Words from the Real Scene...
 TAKE FREE
 www.-HARLEM-.co.jp

03
 March 2013
 volume.060 issue.187



COVER INTERVIEW:
DJ RYO
 "AVENUE"

2012年は東阪合計3万3000人SOLD OUTの過去最高動員を叩き出した
日本最大級のビッグ・パーティー「スプリングルーヴ」!
超ド派手DANCE FLOORが2013年春も幕張メッセに出現!

Springgroove

www.springgroove.com

世界最高峰の豪華アーティスト達が出演決定! 今後も続々追加予定!!



NE-YO / AVICII T.O.K. / ZEDD
三浦大知 / AK-69 ...and more

3.30 SAT MAKUHARI MESSE

TICKETS NOW ON SALE!

OPEN/START 13:00
TICKET: ¥10,500 (税込/全立見/別途ドリンク代¥500-)
GOLD TICKET: ¥18,000- (税込) (GOLD TICKETS内容:専用エリア内未就学児入場不可、1ドリンク付、専用入場レーン、客席内専用エリア、専用クローキョウ)

関西でも開催決定!

SPRINGGROOVE OSAKA 3.31 SUN 神戸ワールド記念ホール
ACTS: NE-YO/AVICII/T.O.K./ZEDD/三浦大知 ...and more!
OPEN-15:00 / START-16:00 TICKETS: ¥9,000 (税込/アリーナスタンディング・スタンド指定/別途ドリンク代)



RITA ORA

ジェイ・Z率いる新レーベル「ロック・ネイション」が送り出す話題の「イット・ガール」!
昨年、3曲連続全英シングル1位を記録した彼女のプレミアム・ライブが決定!

3.18 MON SHIBUYA DUO MUSIC EXCHANGE

OPEN-18:00 / START-19:00 TICKET: ¥5,500 (税込/All Standing/1Drink別) INFO: クリエイティブマン TEL: 03-3499-6669

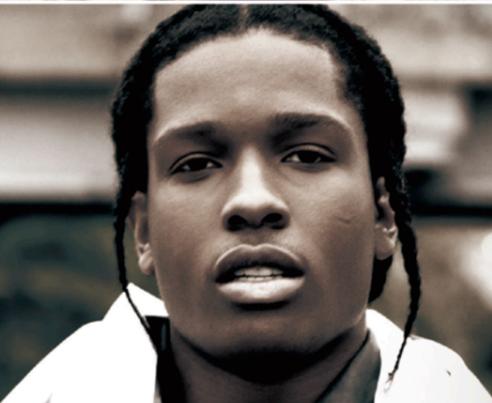
音楽界/ファッション界がこぞ注目する新星ラッパー、エイサップ・ロッキー!
話題のデビュー・アルバム「ロング・リヴ・エイサップ」が全米アルバム・チャートで初登場1位を記録!
初となるジャパン・ツアーが決定!

A\$AP ROCKY

JAPAN TOUR 2013

6.22 SAT
EBISU LIQUIDROOM
OPEN-18:00 / START-19:00
TICKET: ¥6,000 (税込/All Standing/1Drink別)

6.23 SUN
YOKOHAMA BAY HALL
OPEN-17:00 / START-18:00
TICKET: ¥6,000 (税込/All Standing/1Drink別)



COVER INTERVIEW: DJ RYO “AVENUE”

Cover & Interview Photo by SHINICHIRO SAITO

『迷うっていう事もなく、“これ”って決めたらそれをやる…』

強靱な軸と熱きスピリットを胸に、
6年に渡るNYCでの活動で大きな結果を残したDJ RYO。
その貴重なエピソードと、これからの“AVENUE”に迫る。

●最近の“AVENUE”はどうか?

まだ納得ができる程ではないんですけど、約1年前に始めてずっとやってきて、多少の人には「金曜日の“AVENUE”」っていうものが伝わってきていると思います。それがもう一歩、もう二歩といければいいなと思いますし、来てもらって初めて自分たちのやりたい事が伝わるんだと思うので、今年はまだ一段階レベルを上げていけたらと思っています。やる事はもちろんやっているので、聴きに来てもらいたい、遊びに来てもらいたいという気持ちは強いんですね。ALAMAKIくんと二人で土台はきっちり作ってきたという手応えは感じていて、それは遊びに来てくれているお客さんにも伝わっていると思いますし、若いDJの子たちにも多く伝わっていると思うんですね。結果、“AVENUE”が成長している気がしています。この1年間やってきた中で成長してきている若手DJは何人かいるので、『俺とALAMAKIくんがやっている事が伝わってるんだな』って実感しますし、自分たちは軸をしっかり持ってやっているので、そこを感じてくれるんだなって思います。あとは若い子たちからもプレイ後に『どうですか?』って聞いてくれるんですよ。それにこっちも素直に答えているから、自分たちの考えている事も若い子たちに直接伝わって、それはプレイを聴いてもらえますね。かける曲もそうですし。やっぱり、ちゃんと調べて来るんだと思うんですね。『何でこの曲かけるんだらう?』って思っただけで聴いていて、その曲の粋みたいなものをちゃんとわかってかけてるんで。そういうふうに、プレイで伝わっているのはいいなって思っただけで、同じようにお客さんにも、もっと伝わってほしいですね。

●RYOさんはNYにいらっしやいましたが、NYに行く事になったきっかけや、滞在中の活動を教えてください。

NYには2005年の10月に行き、帰って来たのが2011年の10月なので、ちょうど6年くらい経ちましたね。向こうではレギュラーDJとして色々なクラブでやらせてもらって、MARQUEE、AVENUE、10AK、Mansion、M2、Empire Hotelなど、多い時には週5でレギュラーをもらってDJしてました。たまにアメリカの地方にも行ったりして、マイアミのWMC (Winter Music Conference) でも2007年にDJさせてもらったり、ニュージャージーのアトランティックシティに呼ばれてDJしたり。NYに行く事になったきっかけを話すとすると、凄く長くなるし、どこから話せばいいのかわからなくなりますが(笑)、基本的には『NYで勝負してやる』って思った事ですね。個人的にはMARQUEEっていうクラブが自分にとって凄く大きい場所で、STRETCH ARMSTRONGが毎週水曜日にやってそれを目掛けて日本から遊びに行っていた事もありましたし、『あのクラブでレギュラーを取りたい』っていう気持ちが強かったんですね。たまにNYに遊びに行っていた時は、そのMARQUEEの水曜日に行くっていうのを軸で考えて行ってたくらいなんです。

引越を決めてからは勉強しに行くというよりは、勝負しに行くという感覚でしたね。その頃は若かったからか、ちょっとした自信もあったんですよ。それって今考えたら『怖い』って思いますけど(笑)。根拠がないので、その当時の俺には根拠があったんですよ。2005年にNYに引越す前は、2000年くらいからKOYAさんのレコード持ちとして一緒にいましたが、KOYAさんは常にNYを意識して多い時は2~3ヶ月に1回はNYに行っていましたし、色々なDJのプレイを聴いて帰ってきて、たまに自分も一緒に連れて行ってもらったりして、KOYAさんが“RED ZONE”をNYスタイルでやってたから、自分がNYに行った時に聴いていたDJたちのプレイと、KOYAさんが“RED ZONE”でやっていたプレイが、アンテナ張ってる分凄く似てたんですよ。かける曲、例えば(〇〇年代)とかの粋とかも、KOYAさんに付いて4年とか5年で、自分にもちょっと身に付いたと思うんですよ。だから自分的にもちょっと自信があったんですよ。トップまでは言わなくても、スタートラインにはすぐに立てるのになって、NYのクラブの人は全然知らなかったんですけど、そういう自信が根拠にあったんですよ。

●元々、KOYAさんに付くきっかけになったのは何だったんですか?

横浜のクラブで6ヶ月くらいスタッフとして働いていた事があるんですよ。そこでマネージャーをやった人がKOYAさんを紹介してくれたんです。元々、“RED ZONE”が始まる前から、追っかけて近いくらいKOYAさんのプレイを聴きに

行って、当時は恐れ多くて話せるような相手でもなかったですし、雲の上の存在だったんですけど、KOYAさんがやるパーティーには絶対に遊びに行きプレイを聴いて、って感じで、働いていた横浜のクラブにもたまにゲストDJで来ていたんですけど、それで紹介してもらって、その後KOYAさんに付いて色々教わるようになったんです。まあ、教わったって言うのも、音楽に関しては言葉ではほとんど教わった事はないんですよ。あの当時はレコードだったので、KOYAさんがかけるレコードを見たりして勉強してましたね。レコードをかける時って、レコード箱からレコードを斜めにして抜くんで、そのジャケットを見て覚えて、タイトルの一文字でも覚えて、レコード屋に行くと似てるジャケットに覚えてたタイトルの文字があったら『このレコードなんだ』って見つけてましたね。『見て盗め』って感じのオーラだったので、自分からもよほどじゃない限り、KOYAさんに曲は聞かなかったです。

●NYでやっていくと決めるとき、気持ちの面で何が一番の支えになりましたか?

KOYAさんと一緒にいて、いいものを吸収させてもらって、色々な人を紹介してもらって、3年位経った時ですかね、『この人を越したい』って思ったんですよ。今思うと『越す』とかじゃないのかもしれないけど、当時は『越したい』って思ったんですね。『じゃあ、どうする?』って自分に問かけた時に、KOYAさんから離れるとしても『離れてどうするの?』って考えるようになって、DJとしてKOYAさんを越したかったら、KOYAさんの好きな街NYで、しかもSTRETCHがやっているクラブで自分もレギュラー取ってやるって考えたんです。最初は自分の部分が強かったですし、きっかけの一つでもありますね。でも、向こうに行ってから、今度は『恩返ししたい』って変わってきたんですよ。向こうで徐々に仕事が取れ始めた頃ですけど、ここでもっと頑



張って、NYのメジャークラブでレギュラー張って、KOYAさんが日本で自慢してくれるような後輩になる事が、一番の恩返しなのかなって思うようになったんですね。仕事を振るとか考えても、オーナーでもプロモーターでもなく同じDJだと難しい部分もあるし、恩返して事を考えたら、弟子が一人前になるのが一番なんじゃないかなって思ったんです。

あとは、音楽が好きって事ですね。ただKOYAさんを越したいて思っただけだったら、違う事もできたと思うんですよ。日本でメジャーレベルの方へ宣伝していくっていう手もありますし。でもやっぱり音楽が好きって部分があったので、本場NYのHIP HOPっていう音楽と文化がそうさせたんだと思いますね。それに、自分自身のタイミングとしても、その頃はもう24とか25とかだったんで、『この先どうする？』って考えるにはいい時期だったんでしょね。ただ、行くからには『DJで食ってやる』って思っていましたね。『絶対に上手くいく』っていう自信もありましたし。失敗するか上手くいかないとかは全く考えずに、迷うっていう事もなく、『これ』って決めたらそれをやるっていう考えだったんで。NYに行くって決めた時から今まで、一度も気持ちが悪れた事はないですね。そんなんが全ての支えだったと思いますね。

●今、海外に行きたいと思っていながら迷っている人がいるとしたら、何とアドバイスしますか？

DJの人でも他の色んな職業の人でも、今海外に行ってみたって思っている人がいるとしたら、『行きたいなら行った方がいいよ』って言いたいですね。失敗を怖がったり、何かマイナスの部分があるから悩むんだと思うんですよ。自分は音楽が好き、DJが好きという理由があったけど、そういう軸があればすぐに動けると思いますよ。あとは『俺は行く』『もう決めた』『こういう事をやりたい』『こうしたい、あほしい』っていう強い意志ですか。まあ、あとは海外に行くにはお金もかかるんじゃないですか。向こうでお金がないからバイトできるのかっていったら、そういう環境も少ないですし。でも人間って、必死になれば何かしらで生きられると思うんですよ。そうやって皆、色んなところで生きてるし、自分も昔『金がないけどいい』って言ってるでも生きてたんで(笑)。今生きている全員がそうだと思うんですよ。

●最初のレギュラーを取るまで、段階を踏んで綿密にスケジュールを立てた中で動いたんですか？ それとも突き進んだ感じですか？

NYのクラブのDJがどういう流れで雇われているかっていう事は、多少は調べてから行ったんですけど、実際に行ってみると、DJの人数も多いし、地元心みたいなものもありますし、NYで生まれ育ってDJやっている人ももちろん多いので、みんなプロモーターもクラブも昔から知ってる仲で、そんな中に自分のような外国人がいて。どう入り込めばいいのかわからず、大きな壁にぶち当たりました。俺の事を知らなくて当然なんで、そんな人になんか『DJやってくれ』とは言わないですからね。だから、一つ目の仕事を取るまではホントに大変でした。どこかで一つでもDJができれば、『どこでDJやってるの？』って聞かれた時に話せるんですけど、『どこでもやってない』ってなると話にもならないし、その時は英語も全くできなかったので、ホントに大変でした(笑)。小さいBARとかでは売り込めばできる可能性はあるんですけどね。NYって凄くいっぱいBARがあってクラブがあって、DJのやれる場所は多いんですけど『俺はBARじゃない。クラブでやりたい』って思ってたんで。だから、NYに行ってからは週7でクラブに行っていましたね。『このアジア人、毎日見るな』っていうところから声をかけてきてくれるようになって、片言の英語で『日本から来た』『今やってるDJのプレイが好きでいつもいるんだよ』って会話したりして、そこから『じゃあ、知り合いのDJ紹介するよ』って紹介してもらったりして。DJ同士だと英語でもまだ話し易いんですよ。曲だったりアーティストだったり、知ってる言葉があるので。そこで仲良くしてもらって、連絡先を交換してもらって、『今度、あそこのパーティーあるから行こうよ』って一緒に行ったりして、色んな友達も作れたしそのDJからクラブの人も紹介してもらったりしてたんです。

初めてDJできたのが、有名なDJさんのOPENだったんですけど、それからは『どこどこのクラブで誰々のOPENやってます』って言うようになったんですね。その当時、日本でメインのクラブでDJをしてるっていう人がいなかったのので、アドバイスもなく必死にもがいてましたね。自分はNYに行っって半年くらいでOPENをやらせてもらえるようになったから早いのもかもしれないけど、凄くもがいて長かったって感じるんですよ。もう、毎日毎日クラブに行ってエントランスで30ドルとか40ドルとか使ってたわけですから、お金も尽きてきましたからね(笑)。でも、仕事は一切してないんですよ。仕事をする時間があんならクラブに行きたい、音楽に文化にずっと触れていたいと思ってましたから。何より音楽を楽しむたって思っていました。日本で貯めてきたお金はゼロになってもいいからって思ってたし、ゼロになつたら考えようって思っていましたからね。もしかすると『やばい、そろそろ金がない』ってどこかで感じた時、無意識に動き出でたんですかね。ホントにギリギリだったんですよ(笑)。自

分にはわからない何かが行動に出でたのかもしれないですね。それが最初のDJの仕事に繋がったのかもしれないですね。焦ってたわけじゃないんですけど、どこかで『このままじゃ日本には帰れねえぞ』っていうのもありましたから。そしてレギュラーの仕事の話が入ってきて、それでも貯金は減っていましたが、レギュラーでDJが増えてきたら、だんだん貯金が減らなくなっていった感じでしたね。どんだん次に繋がっていったのは、日本にいた時に学んだ事と、DJプレイの自信も持ってたからマッチしたんだと思います。何の違和感もなくやれたし、あとはアメリカ人とは違う感覚のプレイの仕方とか、日本人特有の器用さだったり仕事に対する思いだったり、多分そいうのも買われてたんじゃないかなって思っていて。実際にそういった事をクラブ側からも言われた事もありました。

●6年間で特に印象に残っているパーティーを教えてください。やっぱりMARQUEEのレギュラーを取った時の事は、一番強く印象に残ってますし、今でも忘れないですね。日本と違ってDJは一晚一人なんですけど、日本にいた頃から遊びに行ってたクラブで、そのブースに立って5時間6時間一人でコントロールしなきゃいけないって、それを『じゃあ、RYOに任せよ』って言われた時は、もう、ガッツポーズでしたね。『これは一つKOYAさんに自慢できるな』って思いました。そのMARQUEEってクラブは、NYでもホントに有名で、タクシーの運転手に『MARQUEEに行ってくれ』って言ってもわかるくらいなんですよ。そこでレギュラーが取れたっていうのは、もう名刺代わりなんですよね。『どこでDJやってるの？』『MARQUEEの水曜日』って言えば、それだけで信頼されるんですよ。そこから『それじゃあ、うちの○曜日やらない？』ともなりますし。だから、それが一番大きかったですね。

あとは、マイアミにMansionっていうクラブがあるんですけど、そこのNY支店がOPENする時、OPENから1年半くらい毎週金曜日に一人でやってたんですよ。メインルームは全部HOUSEで、自分がやっていったサブフロアがALL MIXだったんですけど、1年くらい経った頃、自分がそこでやっている事が他のクラブと一緒に感じがしたんで、『ちょっとこのクラブでだけ変えてみたいな』って思ったんですよ。HIP HOPが好きなが多かったし、『ゴリゴリのHIP HOPで一晚やってみようかな』ってなぜか思っで、POPSな曲は一切かけずに、ゴリゴリのHIP HOPで6時間やったら、どんだんそのパーティーが形になってきたんですよ。そのうち(金曜日のMansionはHIP HOP)っていうのが定着できて、NYのHIP HOPのトッププロモーターも入ってきたんですけど、それが強くて、(金曜日と土曜日はメインはHOUSE、サブはTHE HIP HOP)みたいになってきて。その後、オーナー二人が抜けて、Mansion NYっていう名前がM2 Ultra Loungeって名前に変わったんですね。スタッフは同じなんですけどコンセプトをちょっと変えて、よりHIP HOP色を強くしたんですけど、そのきっかけ作りに自分が関わってたっていうのは嬉しかったですね。土曜日のDJと『もっとこうやりたいよね』って話して二人で始めたら、2009年には『マンハッタンでやっている木、金、土曜日の週末のHIP HOPのパーティーはM2』くらいまでなったので、NYのクラブシーンに参加できた感があって。だからこのパーティーも凄く印象に残っているものですね。他にもセレブが来たり、JAY-Zが来たり、Kanyeが来たり、Diddyが来たりっていうのは何回かやってるんですけど、そんな事よりも、一つの時代とシーンに入り込めたその二つのパーティーは、凄く印象に残ってますね。それが自信にもなりましたし、『俺、NYでDJで生きてる』って思えましたしね。

●NYに行く前と帰国してからの環境は全く違うと思いますが、NYに行く前と今とでは、ホントに全然違うので、今でもフワフワしてるんですよ。ホントに浦島太郎なんですよ。自分がまだ日本にいた頃は誰よりも一番下だったし、周り全員が先輩だったんですけど、帰って来たら年下の方が多くなっちゃってるんで(笑)。もちろん、お客さんも当時とは変わっちゃってるんで、ホントに浦島太郎が何だかわかんないんですよ。パーティーもパーティーで変わりましたし、レジデントのDJさんが変わっているパーティーもありますし。今でも何か落ち着かないですね。

●DJをするうえで、NYと東京で違いをつける事はありますか？ 帰って来た当初はあるのかなって思ってたんですけど、実際にやってみたら向こうでやってたまんまののかなって思いますね。日本に合わせるっていう部分って、気持ちではあるのかもしれないんですけど、いざブースに立って曲かけてってなったら、向こうでやってた事と変わらない気がします。帰って来た当時もそうですけど、向こうではそんなに流行ってなくても、日本でメディアの力で流行ってたHIP HOPとかR&Bってあったと思うんですけど、そういうものを知らなかったんです。知ってからは『これでしょ』ってかける時もありますけど、軸は無意識にNYでやっていたまんまののかなって思いますね。それに、皆も日本に合わせたプレイを求めてないと思いますし。『NYでやってた人なんでしょ？ どういうことやるんだろ？』って期待してくれている人もいると思うので、違いはつけていませんね。



●NYと東京では、DJの立場や世間からの見られ方にどんな違いがありますか？

日本と向こうでは、DJの立場や世間からの見られ方は違いますね。クラブでDJしている時、世界的大物DJは別ですけど、基本、DJは脇役ですね。主役はお客さん。ブースに入ったら、スタッフと同じなんです。でも、一歩外に出ると、仕事としてしっかり認知もされて理解されてるので、成り立ってるんですよ。日本ではまだ、メジャーの契約とかがあるDJさんは職業として認められて、ストリーートのDJは難しいっていう感じに見えます。法律が難しくさせているのもあると思いますね。そこがホントに違いだと思います。

NYではDJとして世間に出る機会も多くあるんですよ。ラジオや新聞、他にも自分はやった事がないですけど、ニュース番組やトーク番組の中にDJがいて、アナウンサーや司会者たちと会話をしつつ何曲か紹介するみたいなコーナーがあったりして、それらをクラブでレギュラーDJをやっているような人がやってたりするんですよ。知り合いのDJでもやっている人がいたりする。新譜にしても古いものにしても紹介して、ショートMIXみたいにする時とかもあったり。それはDJに限らず、ロックアーティストとかラッパーとかも出たりもしますし、もちろんPOPSのアーティストとかも出たりするんですけど、DJも一歩外に出るとその人たちと同じくらいに見られる機会もあって、職業として認知され、成り立ってるんですよ。

●日本でも同じように認知されるためには、どうすればいいと思いますか？

自分も知りたくらいです(笑)。でも、日本ではストリートとメディアが離れ過ぎている感がありますね。あとは、自分たちDJにも悪い部分はあると思うんですよ。『ストリートだけでやる』『アンダーグラウンドだけでやる』みたいになり過ぎて、『俺はストリートでやりたい』って人と『俺はメジャーでやりたい』って人がはっきり分かれ過ぎちゃってると思うんですね。否定はしないし両方とも良い部分はあるし、その間で上手くできるDJがもっと増えればいいのになって思いますよね。横の繋がりが薄いというか、例えば誰かがメジャーで一つ仕事を取ったとしても、その人だけになっちゃうんですよ。色んな人を紹介してあげて、色んな人をメディアに出してあげてっすればいいと思うんですけど、一人で総取りして『俺にきたこの仕事は誰にも与えない』みたいになって。それって、その人が飽きたら終わりだし、将来のDJに繋がらないと思うんですよ。だったら、色んな人を紹介して色んな仕事を察いで、シーンが大きくなれば安定するだろうし、皆にも仕事がいいし、そうなれば本人にも仕事があるし。もちろん、今まで日本にはない流れな分、やりたいっていう気持ちは誰にでもあるとは思ってますけど、そこは一人ではなくて皆とやれば、違う新しい動きが出てきたり力になったりできると思うんですけどね。そうしたらストリーートの良さを今以上に伝える事もできて、メジャーとの距離も近くなって、『DJ』っていう職業はこういうものなんだ』って解ってもらえる一つのきっかけになると思うんですよ。

●RYOさん自身は、自己プロモーションは得意ですか？ 苦手ですか？

俺は苦手ですけど、自己プロモーションができる人はほとんどやった方がいいと思いますね。今、日本でもっている仕事も、昔からの繋がりの先輩がいて色んな人がいて頂いているものですし、NYに行った時も『俺はDJだ』とか『CDあるんだけど聴いて』とか、一回もやった事がないんですよ。できないシャイな性格でもあるんですけど。全部が繋がって紹介してもらって、そこで音楽が好きでDJが好きでっていう気持ちも、昔からの繋がりがあっていったんで、『DJがやりたい』『仕事くれ』とかじゃなく、好きっていう気持ちが強い方が相手に伝わると思うですよ。『俺はこんだけ好きなんだ』『こんだけ好きだから日本からNYに来たんだ』って話すと、『ホントにこいつ好きなんだ』『毎日クラブにいるしな』ってわかってもらえたんだと思います。毎日いるし、しかもブースの横に一人でポツンと立って(笑)、『こいつ、ハインケンのビール1本で5時間くらいいない？』みたいな感じだったんで(笑)。

何にしろ、一本の軸が大事なんですよね。それが曲がっっちゃってる人は、いつまで経っても何もできないと思うし、伝わらないし。ホントは自分でプロモーションができればいいとは思ってますけど、苦手な人はプロモーションしてくれる人を付けてもいいと思いますし、『自分のDJはこうです』っていうよりは『ホントに好きなんです』っていう気持ちも伝えた方が、仕事を取るという考えのプロモーションよりも内容のある、強いプロモーションになると思います。『こんだけのヤツなら、一緒にやりたいわ』って思わせるのはそういう部分だし、そこでプレイがまだ若くても、『これだけの熱意があるなら教えたい』って思うだろうし。プロモーションが苦手な自分にも言い聞かせている部分でもありますね(笑)。

●今後の展望を聞かせて下さい。

2012年は、ずっと“AVENUE”をやらせてもらってて、多少の人には“AVENUE”っていうものを知ってもらえるようになってると思うんですけど、多分まだコンセプトでは伝わってないと思うんですよ。だから、2013年は言葉でもプレイでも、しっかり伝えていきたいなって思ってます。“AVENUE”のコンセプトは、自分がずっとやってきた〈NYのクラブ〉で、古いものも新しいものも、自分が住んでいた当時のNY、今の現状のNYっていうものも伝えたいって思ってる。NYでも一個何かにバシッと的を絞った方が打ち出し易いのもかもしれないですけど、それだとシーンが良くないような気がするんですよ。例えば、90年代のNYだけって言っても、2000年のNYだけって言っても。ちょっと大雑把すぎるかもしれないけど、その当時のいいもの、その時代のいいもの、今のいいものっていうのを、若い子たちも含めて流れで一日作ればって思っているの。2013年は“AVENUE”のコンセプトをしっかり伝えたいっていうのが第一で、それに限るんじゃないかなって思ってます。去年始まった頃は、若手も集まって皆で『こういうコンセプトでやろう』って話してたけど、若手の中でも入れ替わりもあるのその話を知らない子もいますし、『“AVENUE”はこういうコンセプトじゃないっていうのを知らないで入ってきている子もいるので、改めて確認できたらと思っていて。それを今度、こういう話面でも言葉でもお客さんに伝えていきたいし、何よりプレイで見せたいと思ってます。

多分、今(NY)って言っても意味と皆『？』だと思うんですよ。『何がNY？』っていう感じだと思うんですよ。もちろん、今向こうに住んでいるわけじゃないですから、向こうに住んで音楽聴いている人には敵わないけど、自分には日本にいても常にNYを追ってますし、だから“AVENUE”では(NY)を伝えていきたいですね。

NYでは今、四つ打ちもどんどん流行ってきて、HIP HOPがかからないパーティーやクラブも多くなってきているんですけど、でもHIP HOPを軸にやっている凄くいいパーティーもたくさんあって、それを上手く取り入れてやってる四つ打ちもあって、REGGAEがあったり、他にも色んなジャンルが世界から集まって来てる感じなんです。この前STRETCHに『NYどう？』って聞いたら、一言『International』って書いてましたんですよ。世界中に(NY)っていうものを追ってきた人がいて、その人たちが育ってって、今度はその人たちが『この音楽ならNYでもイケるんじゃない？』って戻ってきたって、それでなんとなくインターナショナルな感じになったのかがでんって思ってますよね。だから、レベルがまた一つ上がったのかなって。昔は『NYの音楽だけ』っていう文化で、自分たちはそれが好きでいましたけど、今度は外からもどんどん取り入れられています。今までは片意地張ってたようなところが、今度はそれを取り入れるようになったら、どんどんレベルが上がるんだろうって思いますよね。それがわかってたから、昔からのSTRETCHのあのプレイなのかなって。誰よりも早くに色んなジャンルのものを取り入れてましたしね。もちろん好きだという事があったうえで。だから“AVENUE”でも、そういう部分も出したいですね。新しいものと古いものと、これからのものも取り入れて、追うだけじゃなく逆に『NYと対抗れるんじゃない？』くらいのことはいたいと思いますよね。遊びに来てくれているお客さんがNYに行ったんですよ。『これ、“AVENUE”じゃない？』って思えるような、そんなHIP HOPを軸にしたパーティーにしていきたいですね。

●読者にメッセージをお願いします。

金曜日に“AVENUE”をやらせてもらっていますけど、今年は多くのお客さんから色んな事を聞かれたし伝えていきたいなと思ってます。『NYはどうなんですか？』でも何でもいいんですけど(笑)。去年は、話し辛いかちちょっと怖いかなのか、距離を置いてた人もいると思うんですけど、音を聴きに来てもらうっていう部分とNYっぽさを感じて来てもらうっていう部分の両方を楽しんでもらいたいと思っているので、気軽に声をかけて欲しいです。これからNYに行く予定があったりする人とかには、何かしらのアドバイスはできると思うし、皆にその楽しさをわかしてもらいたいと思っているので、クラブのことでもいいですし、『NYにどっか美味い日本食ないの？』でも(笑)、小さい事で何でも聞いてきてもらえたらと思ってます。金曜日はいつものいるので、“AVENUE”には是非遊びに来てくださいね！お待ちしております!! ！！

- DJ RYO “BEST 3 TUNE”
“Suit & Tie”
- Justin Timberlake feat. Jay-Z
“Higher”
- Just Blaze & Bauuer
“Dope”
- Tyga feat. Rick Ross

PARTY SCHEDULE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
<p>24 AMAZING SUNDAYZ ☑ HAZIME, SAH, ALAMAKI</p> <p>☑ OPEN: 23:00 ¥2,500/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>25 SORRY... CLOSED</p>	<p>26 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☑ KOYA, KANGO ☑ TSUKASA</p> <p>BX CAFE ROYAL FLUSH "YELLOW MAGIC" ☑ KEN-SKE, HIKOICHI, IPPEI</p> <p>☑ DJ HIDEKI MIX CDを先着30名にPRESENT! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>27 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☑ KOMORI, KENT ☑ YOKOYAMA</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/2D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>28 NEVER BROKE "BCDMG / Ordinary Life. RELEASE PARTY" ☑ 8MAN (THUGMINATI), TY-KOH, NUCKEY (THE HEAVY HITTERS) ☑ SPECIAL LIVE有り ☑ S.O.D., KANTO JAP GO-GO DANCER: BLUE MAGIC GO-GO DANCERS ☑ C.E.O. KAZU</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)</p>	<p>3/1 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT ☑ WATARAI, HAL, SAH ☑ SHUNSUKE, TAKU, TAKA</p> <p>BX CAFE AVENUE ☑ RYO, ALAMAKI ☑ GIANN</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>2 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER × TOKYO SAFARI SPECIAL GUEST LIVE: ビッグボルト / (小幡千鳥, レイザーラモンHG, RG), スモールボルト / (宇野寛まき, 今別府直之, 男前), AFRA ※LIVE ARTIST変更の可能性あり ☑ HAZIME, KANGO, GEORGE, SAFARI, 下祐 ☑ MACKO ☑ KAZ, HIDEKI, SHINOBU</p> <p>BX CAFE GUEST有り ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *</p>
<p>3 AMAZING SUNDAYZ ☑ HAZIME, SAH, ALAMAKI</p> <p>☑ OPEN: 23:00 ¥2,500/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>4 SORRY... CLOSED</p>	<p>5 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☑ KOYA, KANGO ☑ SHEIKER</p> <p>BX CAFE ROYAL FLUSH "BLUE CHIP" ☑ KEN-SKE, MOB, REVOLVER, Ma-Ka</p> <p>☑ DJ BOBBY MIX CDを先着30名にPRESENT! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>6 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☑ KOMORI, MURAKAMIGO ☑ TAK</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/2D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>7 DANCE HOLIC ☑ SAFARI, HAL ☑ SHOWGUN, S.O.D, NAOTO+TAKUMI+MASK+ MAMIZO+Mio (83crew), 6 SENCE, TOKYO LIMITED CREW</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)</p>	<p>8 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT DJ LEAD The FINEST "Golden Best Of 2012-13" Release Japan Tour! ☑ LEAD ☑ WATARAI, HAL, SAH ☑ SHUNSUKE, KAZ, YUKI</p> <p>BX CAFE AVENUE ☑ RYO, ALAMAKI ☑ IPPEI</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>9 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☑ KOYA, MOTOYOSI ☑ KAZ, HIDEKI, SHINOBU</p> <p>BX CAFE SUPA DUPA SATURDAY HOST SOUND: MASTERPIECE SOUND, POWER PLAYERZ</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>
<p>10 AMAZING SUNDAYZ ☑ HAZIME, SAH, ALAMAKI</p> <p>☑ OPEN: 23:00 ¥2,500/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>11 SORRY... CLOSED</p>	<p>12 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☑ KOYA, KANGO ☑ HIDEKI</p> <p>BX CAFE ROYAL FLUSH "ORANGE BLOOD" ☑ KEN-SKE, SHEIKER, CO-HEY, TAKA</p> <p>☑ DJ BOBBY MIX CDを先着30名にPRESENT! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>13 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☑ KOMORI, KENT ☑ MAD</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/2D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>14 SORRY... CLOSED</p>	<p>15 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT ☑ WATARAI, HAL, SAH ☑ SHUNSUKE, TSUKASA, SELECT</p> <p>BX CAFE AVENUE ☑ RYO, ALAMAKI ☑ TONNY</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>16 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☑ WATARAI, SAFARI, MOTOYOSI ☑ KAZ, HIDEKI, SHINOBU</p> <p>BX CAFE Apple Pie ☑ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>
<p>17 AMAZING SUNDAYZ ☑ HAZIME, SAH, ALAMAKI</p> <p>☑ OPEN: 23:00 ¥2,500/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>18 SORRY... CLOSED</p>	<p>19 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE SPECIAL ☑ DJ ROCTAKON from NYC ☑ KOYA, KANGO ☑ BOBBY</p> <p>BX CAFE ROYAL FLUSH "BLACK LOUNGE" ☑ KEN-SKE, SAH, TOKISHIN, GIANN</p> <p>☑ DJ BOBBY MIX CDを先着30名にPRESENT! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *</p>	<p>20 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☑ KOMORI, MURAKAMIGO ☑ MarT</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/2D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>21 SORRY... CLOSED</p>	<p>22 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT ☑ WATARAI, HAL, SAH ☑ SHUNSUKE, HIRO, SELECT</p> <p>BX CAFE AVENUE ☑ RYO, ALAMAKI ☑ WATAYOSHI</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>23 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☑ HAZIME, MOTOYOSI ☑ KAZ, HIDEKI, SHINOBU</p> <p>BX CAFE Vanessa ☑ KOYA, A-KAY</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>
<p>24 AMAZING SUNDAYZ ☑ HAZIME, SAH, ALAMAKI</p> <p>☑ OPEN: 23:00 ¥2,500/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>25 SORRY... CLOSED</p>	<p>26 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☑ KOYA, KANGO ☑ TSUKASA</p> <p>BX CAFE ROYAL FLUSH "YELLOW MAGIC" ☑ KEN-SKE, HIKOICHI, IPPEI</p> <p>☑ DJ BOBBY MIX CDを先着30名にPRESENT! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>27 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☑ KOMORI, KENT ☑ YOKOYAMA</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/2D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>28 NEVER BROKE ☑ 8MAN (THUGMINATI), TY-KOH, NUCKEY (THE HEAVY HITTERS) ☑ LYRICAL THANKS × S.O.D × TRIPLE CLUTCH, CHIE (おとこね-†) × CHIKA (Queen Bee) GO-GO DANCER: BLUE MAGIC GO-GO DANCERS ☑ C.E.O. KAZU</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)</p>	<p>29 EVERY FRIDAY NIGHT AVENUE "1st Anniversay Special!!!" ☑ DJ ERICK LA PEAU from NYC ☑ RYO, ALAMAKI</p> <p>BX CAFE PUNCH OUT ☑ WATARAI, HAL, SAH ☑ SHUNSUKE</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *</p>	<p>30 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☑ HAZIME, SAFARI, MOTOYOSI ☑ KAZ, HIDEKI, SHINOBU</p> <p>BX CAFE RECOGNIZE ☑ SACHIHO, SHUNSUKE</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>
<p>31 AMAZING SUNDAYZ ☑ HAZIME, SAH, ALAMAKI</p> <p>☑ OPEN: 23:00 ¥2,500/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>4/1 SORRY... CLOSED</p>	<p>2 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☑ KOYA, KANGO ☑ SHEIKER</p> <p>BX CAFE ROYAL FLUSH "BLUE CHIP" ☑ KEN-SKE, MOB, REVOLVER, Ma-Ka</p> <p>☑ DJ SHEIKER MIX CDを先着30名にPRESENT! ☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>3 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☑ KOMORI, MURAKAMIGO ☑ TAK</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥2,500/2D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>4 DANCE HOLIC ☑ SAFARI, HAL</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)</p>	<p>5 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT ☑ WATARAI, HAL, SAH ☑ SHUNSUKE, TAKU, TAKA</p> <p>BX CAFE AVENUE ☑ RYO, ALAMAKI ☑ GIANN</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>	<p>6 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☑ KANGO, SAFARI ☑ KAZ, HIDEKI, SHINOBU</p> <p>BX CAFE SOUL FOOD ☑ 下祐 ☑ GUEST DJ有り</p> <p>☑ OPEN: 22:00 ¥3,000/1D * t.l.l.l 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</p>

☑ : DJ
☑ : MC
☑ : GUEST DJ
☑ : SPECIAL GUEST
☑ : LIVE
☑ : DANCE SHOW CASE
☑ : VJ
☑ : OPEN UP DJ
☑ : HOST
☑ : INFORMATION
☑ : HARLEM 3RD FLOOR

▶▶ EVERY TUESDAY “RED ZONE”

平日の火曜という難しい状況下で、平日のパーティーの概念を全てブチ壊し、週末と錯覚するほどの集客力を誇る「RED ZONE」!! NEW YORKのパーティースタイルを日本で再現したい一心で始められたこのパーティーも、今やアメリカ本土のDJ達からも注目され、こぞって来日するまでに!! BLACK MUSICを中心にHOUSE、ELECTRO、そしてROCKなど、ここから発信されるクラブスタイルは世界最速!! 最先端!!! そして常に根底にあるのはDJ KOYAとDJ KANGOのまっすぐ過ぎるほどストレートな“HIP HOP”!!! 流行から文化を創りだすほどの影響力を持ち、もはや日本のクラブシーンを牽引しているといっても過言ではないパーティー。



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

それが「RED ZONE」だ!!!!!!
3/19のRED ZONEには約4年半振りにDJ ROCTAKONの出演が決定! 祝前日のスペシャルを存分に楽しもう!



DJ ROCTAKON “BIOGRAPHY”

'95年の夏、ライフガードをしながら貯金したお金でターンテーブルを購入し、その日からDJ Roctakonは誕生した。彼の故郷であるWashington DCには、豊かな音楽の歴史があり、彼のユニークな音楽スタイルに多大なる影響を与えた。「俺はラジオから流れるBlondie、ロックパンク、Go Go、Hip HopからR&Bまで様々なジャンルの音楽を聴いて育ったんだ。DJを始めて、俺自身がクリエイティブになって、自分の好きな音楽を他の人と共有できることが何よりもうれしかったね。」90年代後半には、DJ Roctakonの人生に新しいパッションが生まれる。それはDJバトルだった。「俺の10代後半は、とてもクレイジーだった。毎日スクラッチと練習に明け暮れる日々(笑)。女の子と全く遊ぶ暇なく、ターンテーブルと毎日向き合って、週に60時間は費やしていたよ。」この彼の努力は地元のDJバトルによって報われるようになる。「タバコメーカーのKOOLが、かなりの大金を賞金にしたDJバトルで優勝し、それから俺のモチベーションは上がっていったんだ。」



DJ Roctakonは、自身のミックスとスクラッチ・スキルだけを手にNYに向かった。「幼い頃から俺は必ずNYに行くって決めてたよ。そのくらいこの街に惹かれていたんだ。NYに着いたその日からホームタウンのように感じたよ。」NYは、彼の才能を認め、直ちに彼を迎え入れた。「俺には、DJスキル以外何も持ち合わせていなかった。認めてもらうために、どんな所でDJをし、何でもしたよ。」

彼の勤勉さが認められるのに長い時間は掛からなかった。1年以内にSpaやBungalow 8といったNYのクラブでレジデンスになり、今日ではNYの最高峰であるMarqueeのレジデンスにもなった。この他、Las VegasのMoonというクラブのレジデンスもこなしている。彼の手によって興奮せざるにられないクラウドは存在しない。

今日では、多くのDJがオール・ジャンルをプレイする傾向があるが、DJ Roctakonは本物のスタイルを持っている。「俺は決して3時間のヒップホップに1曲のAC/DC、またはJoan Jettの曲をミックスなんかしない。それ以上のミックスをしなければミックスとは言えないからね。時代は変わっているんだ。クラウドはもっと斬新なものを求めている。俺はそれを提供できる。」彼は、彼の経験と膨大な音楽への知識を頼りにその約束を果たす。「俺は決してセレブリティじゃない。与えられた任務を一生懸命やっているだけさ。常にベストを尽くしていたいんだ。」とはいえ、世界中はそう思っていないようだ。DJ Roctakonのブッキングは、すぐに埋まり彼をセレブリティだと認め始めている。

DJ AMやVICEといった、HARLEMでもなじみの深いDJをも唸らせるDJ Roctakon。彼の圧倒的な選曲とスキルを体感せよ。

MONTHLY MAGAZINE HARLEM 設置店募集!

本紙を毎月20部以上100部未満で設置または配布して頂けるショップ(会社)を募集しております。設置ご希望の方は、【フリーペーパー設置希望】のタイトルで、以下の事項をご入力の上メールにてご連絡下さい。追って当方からご連絡させていただきます。
※個人の方への発送は行っておりません。
※送料は弊社負担となります。
※応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございます。
■お申し込み先アドレス: otaken@harlem.co.jp
■記載事項: 会社名(店舗名)/業務内容/お取り扱い商品 希望送付部数/ご住所/ご連絡先電話番号 メールアドレス/ご担当者様名/HPアドレス(お持ちの方)



▶▶ EVERY WEDNESDAY “PARTY NAKED”

DJ KOMORIがHARLEM水曜日をプロデュース。ジャンルレスなコンセプトでお届けする「PARTY NAKED」。「心を裸にして楽しんで欲しい」という想いが込められたこのタイトルそのまま、純粋に華やかで底抜けに楽しいPARTYを展開していきます。ジャンルに拘らないそのSTYLEは現在の流行を先行する“OPEN FORMAT”という新しい概念すら超越した“ALL PARTY MUSIC”。PARTYをどこまで楽しめるか? どこまでも楽しんでもらう為に! DJ陣が音楽の扉を大きく開いてトコトコおもてなをします。RESIDENTはDJ KOMORIを筆頭に第1・第3週はレーベルメイトでもあり名古屋を拠点に活動し



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

「フロアのネ申」の異名を持つDJ MURAKAMIGO、第2・第4週は大坂より今や絶大な人気を誇り全国区で活躍するDJ KENTを迎え、毎週毎週PARTYをアップグレード! そしてEXCLUSIVEな第5週目にはシーンを黎明期より支え続けた日本屈指のプロデューサーDJ HASEBEが登場! 今までの常識を根底から覆す新しいスタイルで毎週水曜日に絶賛開催中!!



▶▶ EVERY FRIDAY “PUNCH OUT”

一晩を通して「踊り明かせるPARTY」をテーマにHARLEMがお贈りしているEVERY FRIDAY PARTY NIGHT「PUNCH OUT」。シーン最重要人物の一人でもあるDJ WATARAIを筆頭に、多方面での活躍が光るDJ HAL、そしてストレートなHIPHOPを表現するDJ SAH! フレッシュさ、アグレッシブさを兼ね備えた3DJSの個性がぶつかり合い、そして融合して起こる化学反応に深く魅了されてしまうオーディエンスは後を絶たない!!!



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

パーティータイトルの如く10フレーム最後に起こる奇跡のような、それで一晩を完璧に構築・演出していく様はGAMEを知り尽くした功者ならではの、音楽への飽かき探究心と好奇心があるからこそ、無限に広がる究極のPARTYの可能性はココHARLEM「PUNCH OUT」から。洗練された選曲と時を忘れてしまう程のMIX/GROOVE、一度味わってしまえば二度と忘れることの出来ない感動と衝撃を是非貴方自身で体感してください。



3/8は、DJ LEAD THE FINEST “Golden Best Of 2012-13” Release Japan Tour! GUESTにDJ LEADが登場! WORLD WIDEに活躍する彼のMIX SHOWを体感してください!



▶▶ EVERY TUESDAY at BXCafe “ROYAL FLUSH”

火曜日のBX CAFEにて毎週異なるテーマで開催されるWEEKLY PARTY「ROYAL FLUSH」!! 温故知新といったブラックミュージックの文化を、そのプレイで忠実に紹介してくれるのは、東京をはじめ全国各地、世界はマイアミにおいてもプレイ経験を持つDJ KEN-SKE!! 第1週目は、当時を色濃く映し出すSMASH HITSや知られざる隠れた名曲まで、2000年前後を中心とした内容でお贈りする『BLUE CHIP』。第2週はダンスクラシックスを中心とした『ORANGE BLOOD』。第3週はブラックミュージックの神髄を深く深く掘り下げる『BLACK LOUNGE』。第4週はHIP HOPからHOUSEまで全てのダンスミュージックを網羅する『YELLOW MAGIC』。



レアな第5週目はDJ KANGO (RED ZONE)とDJ KEN-SKEが入り替わる「特別な夜」『RED LIGHT SPECIAL』と、毎週火曜のパーティーとは単に言い表せない濃厚な『ROYAL FLUSH』。フリークは増加の一途である…。



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

▶▶ EVERY SATURDAY “MONSTER”

誰もが興奮する最強の渋谷HIP HOP四天王が毎週登場する「MONSTER」。DJ KANGO (第1週)・DJ KOYA (第2週)・DJ WATARAI (第3週)・DJ HAZIME (第4週)という無敵の布陣に、世界最強DJ集団THE HEAVY HITTERSよりDJ LEADが第5週に電撃参戦! 東も西も国境も時代も関係ない。まさに王道中の王道中の王道。DJの名前を知らなくても許されるパーティーが乱発する昨今、その問答無用のケチガイな破壊力はジャンルを超越し、人々の記憶と心に容赦なく強いトラウマを与える事だろう。



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

原点復帰。今の日本は“本物”を求めてはいけないのだろうか? 必要としてはいけないのだろうか? これは時代への挑戦でもあり、とてつもなく壮大で最高にエキサイティングな革命だ。真の音楽ファンならば胸を熱くせずにはられない、日本HIP HOP界今世紀最大の事件と言うべき黄金のパーティーがスタートした! 地球規模で常識をブチコワす史上最強HARLEM伝説に震撼せよ!!!



3/2のMONSTERは、TOKYO SAFARIとのコラボレーションパーティーを開催! GEORGE, 下拓, MACKOのOSAKA SAFARIメンバーに加え、SPECIAL GUEST LIVEにはビッグボルト、スモールボルト、AFRAが登場! HARLEM初登場のパフォーマンスは必見!!

▶▶ EVERY SUNDAY “AMAZING SUNDAYZ”

NIGHT CLUBでのHIP HOP PARTYのあり方を再提示し、今まで誰もがなし得なかった日曜日の常識を覆した“SUNDAY DELIGHT”。約2年の月日に渡り走り続けたこのPARTYは多くのフォロワーを生み出すとともに若いDJ達の飛躍のきっかけともなった。2013年、固まりかけたイメージを打ち砕くが如く強烈に発信される新しいPARTY、その名は“AMAZING SUNDAYZ”。



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

サンデラのコンセプトであった“HIP HOP”「新譜」というテーマをさらに深く掘り下げ、より振り幅を広く持ちさらに多くのMUSIC FUNをカバーすべく、HIP HOPを軸にしながらもジャンルの壁に



捕らわれること無くWORLD MUSICを展開していく。単なるVersion Upという言葉では片付けられないということを証明してくれるのは、絶対的な存在である司令塔DJ HAZIMEを筆頭にバンドロールとの呼び声高いDJ SAH, DJ ALAMAKIのRESIDENT DJ 3人、そして後ろに続くyoung gunz、さらにはオーディエンスの1人となった貴方自身! 渋谷HARLEMから発信される新しい日曜日の音の便りをその耳に、新しい感動と驚きをその胸に!! What a AMAZING SUNDAYZ!!!

3/7-4/4 THU “DANCE HOLIC”

HAPPY GIRL'S FESTIVAL!! 桃の節句直後の3月のDANCE HOLICは、SHOW GUNがフルメンバーでダンホリ初登場!! 東京中のダンサーが注目するDANCER in HARLEMにはS.O.D & 6 SENCEが登場! フライヤーは見逃し厳禁! もちろんDJはSAFARI & HALがフロアを完全にロック! SHEIKER、SELECT、shoWWgoなど都内を中心に大活躍のメンバーが2人をしっかりサポートします。フライヤーでは4/18にダンホリがお届けするアレの先取りinfoもあるとか…。何はともあれ3/7は渋谷HARLEMダンホリ。手帳へのメモをお忘れなく!!



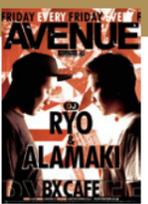
3/9 SAT “SUPA DUPA SATURDAY”

毎月第2土曜は超満員御礼パーティーでおなじみ“SUPA DUPA SATURDAY”@BX CAFE。HOST SOUNDは説明不要の東京人気サウンド、MASTERPIECE SOUNDとPOWER PLAYERZ!!! REGGAEはもちろん、HIP HOP、R&Bの最新HIT TUNEから古き良き懐かしの名曲まで、幅広い選曲でガッツリ盛り上げてます!!! 3月はひな祭りスペシャル!!! 女の子に優しいPARTYです!



▶▶ EVERY FRIDAY at BXCafe “AVENUE”

DJ KOYAを師に持ち「RED ZONE」のDNAを継承し、'05年単身渡米後は師が敬愛するNYの数々の名門クラブでレジデントとなり、一躍名声を手に入れたDJ RYO。NYのCLUBのBEST DJ AWARDを受賞するなど、TOP DJとして華々しいキャリアを積み、昨年再び“原点”である東京へと拠点を移した。凱旋帰国を果たしたDJ RYOが、遂にBX CAFEにて待望のレギュラーパーティー“AVENUE”をスタート! 共にレジデントを務めるのは、現在HARLEM『AMAZING SUNDAYZ』を始め、渋谷を中心に大車輪の活躍をみせるDJ ALAMAKI。DJ RYOと同時期、世界的音楽都市・TOKYOの第一線で幾多のパーティーで結果を残してきた、御存知の通り実力派DJである。TOKYOとNEW YORK。海を越えて、新たな音の波が生まれる。



渋谷の金曜の夜が変わる。これは何かとつてもない事が起こるかもしれない。3/29は“AVENUE” 1st Anniversary! なんと2F (PUNCH OUT) と3Fを入れ替えて盛大に開催しちゃいます!! そして1周年を祝うSPECIAL GUESTにはERICK LA PEAU from NYCを招いてまさにNEW YORKさながらの一夜をお贈りします。こんな贅沢な一夜を是非お見逃しなく!



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

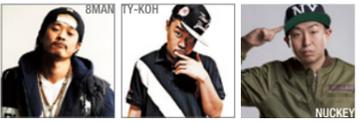
DJ ERICK LA PEAU “BIOGRAPHY”

若干15歳にしてErick La Peauは様々な音楽に触発されDJを始めたと言う。1996年、まだ駆け出し中のMark RonsonがDJをやっていたNYの人気カフェでそのキャリアをスタートさせたLa Peau。SpaやSuite 16といった90年代を代表とするメカクラブやラウンジでDJをする日はすくすくやっていた。マイアミ、ロサンゼルス、カナダ、ハンブロンといった全米で活躍するようになった彼は、2000年代初期、人生を変えたと言っても過言ではない大変名譽なイベントにてDJをする事となった。Diddyの29歳のバースデーイベントとPrinceが主宰するベネフィットコンサートでのDJである。これをきっかけにJennifer Lopez, Wyclef Jean, Kimora Lee Simmons, Ciara, Jay Zといったセレブリティの目に留まり、DJブッキングが相次いだ言う。またNike、T-Mobile、Emporio Armani、Appleといった大企業イベントでのDJによって名声を得たLa Peau。東京、ロンドン、チューリッヒ、ミュンヘン、コペンハーゲンといったワールドワイドでエクスクルーシヴなクラブで彼の姿を見かける事は珍しくない。(訳: @HIRO_NUMATA)



3/28 THU “NEVER BROKE”

NEVER BROKEは、一夜を通して“MAIN STREAM”=“現在進行形”HIP HOPでエスコートします。常にUSとタイムラグの無いUSマナーに添った内容・展開により、提供する「音」で他とは徹底的に差をつける、日本におけるHIP HOPスタンダードを上げる“TRU TOKYO” HOT PARTY! NEVER BROKEが誇るIII DJ、8MAN (THUGMINATI)、TY-KOH & NUCKEY (THE HEAVY HITTERS)。毎回CLUB DANCEシーンを代表するダンスチームによるDANCE SHOWCASEも必見! ステージを彩るSEXY GO-GO DANCERSと濃いつまみでお届けします!



3/30 SAT “RECOGNIZE”

不定期開催、神出鬼没でエキサイティングなPARTY “RECOGNIZE”! 誰もが認める注目のDJを迎えてお送りしています。そんな今回のRecognized DJは、SACHIHO、SHUNSUKEの2人! 3月最後のBX CAFEを一早くお酒と笑顔で満開にしちゃいますよ〜!



4/6 SAT “SOUL FOOD”

第1土曜BX CAFEと言えば(SOUL FOOD)!! 大阪で活躍するDJ 下拓を中心に全国各地で活躍するDJを招待する新しいスタイルのイベント! 東京に居ながら大阪と各地の空気を感じられるこのパーティー、見逃せません!



Follow me http://twitter.com/club_HARLEM



DJ KOMORI



DJ HASEBE



DJ MURAKAMIGO



1.30 & 2.6 WED "PARTY NAKED"
 1月最後の水曜日はDJ HASEBEが登場。年に数回しかない第5水曜日に彼のPLAYで踊れたあなたはラッキー?! イヤいや違います!! RESIDENTのDJ KOMORIを筆頭に第1・第3はフロアのネ申DJ MURAKAMIGO、偶数週は大阪からDJ KENTと、バラエティに富んだCASTでALL DANCE MUSICをお届けしています。ちなみにオリジナルカクテル「ハングオーバー (意味: 二日酔い!)」も大好評いただいちゃって酔い〜★なお客さんでいっぱいです^^いー感じ!



DJ SAH



DJ HAZIME



DJ ALAMAKI



DJ DABO



DJ DIRTYKRATES a.k.a. Zeebra



DJ KANGO



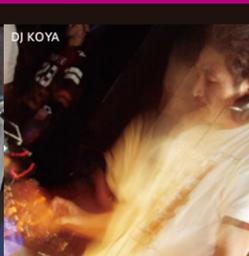
DJ KOYA



DJ KEN-SKE



DJ STRETCH ARMSTRONG



2.10. SUN "AMAZING SUNDAYZ SPECIAL"
 2013年の幕開けから話題をかっさらいさらに勢いを増す「AMAZING SUNDAYZ」。「日曜日のPARTYはなかなか形にならない。」そんな業界の言葉すら遙か昔に風化させてしまったHAZIME, SAH, ALAMAKIの3TOPは向かうところ敵無し勢いで突き進んでいます。祝前日の2/10はBX CAFEにDIRTYKRATES a.k.a. Zeebra, DABOをGUEST DJに招きJAPANESE HIP HOPシーンの更なる飛躍を占う一晩に。モチロン、満員御礼でフロアには多くの手が高く掲げられていました。



DJ Mike-Masa



DJ KOMORI



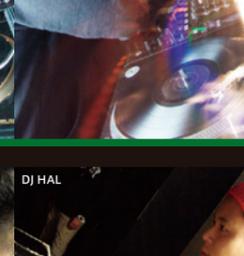
DJ WATARAI



DJ HARUKI



DJ SAFARI



2.16. SAT "MONSTER -DJ SAFARI BIRTHDAY BASH!-" / BX CAFE "Apple Pie"
 2月第3週のMONSTER DJはWATARAI & SAFARI!! 2人のコンビネーションで一晚中踊り明かせるのは東京でもこの日だけ! きっちりと2人のカラーが絡み合い、極上のダンスフロアは常にパンパンで熱気に溢れます。この日はDJ SAFARIのBIRTHDAY BASHとあってお祝いムードも満タン。BX CAFEではTOKYO NO.1 R&B PARTY "Apple Pie"。こちらもHARUKI, KOMORI, Mike-Masaの3人がR&Bを軸にDANCE MUSICを華麗に展開。贅沢な2フロアを堪能して、みなさん笑顔でサイコーでした☆



DJ RYO



DJ ALAMAKI



DJ SAH



DJ WATARAI



DJ HAL



DJ SAFARI



DJ HAL



2.7. THU "DANCE HOLIC"
 月1で今勢いのあるDANCERがステージでそのポテンシャルを大いに発揮するONE & ONLY DANCE SHOWCASE NIGHT "DANCE HOLIC"。初のマンズレポート! 巷では「ダンホリ」の通称で愛されるこのパーティ、ショータイムには狂った異様な盛り上がりを見せることはもちろん、GUEST DJにはSAFARI, HALが控え、ダンスショーのみならずフロアを熱狂の渦に。簡単にダンスイベントという言葉では片すことの出来ない現在のダンスシーンの熱いおわりを体感できるダンホリで、いまを生きるダンスを観てそして踊ってください!

●その他、未掲載のPARTY SHOTはWEBに掲載!
www.harlem.co.jp [HARLEM MAG > PARTY REPORT]

2.22. FRI "PUNCH OUT" / BX CAFE "AVENUE -DJ ALAMAKI BIRTHDAY BASH!-"
 毎週金曜日はWATARAI, HAL, SAHの3人をRESIDENTに若手が凌ぎを削り盛り上がりを見せるPUNCH OUT。一晚中踊り明かせることにコンセプトをおいたこのパーティーはいつ来てもきっちり楽しめます! でもやっぱり早めの時間からがオススメ!! BX CAFEでは今年の巻頭を華々しく飾ったDJ RYO、そしてDJ ALAMAKIがお互いのSTYLEを存分に活かしたPLAYで人気を博しているAVENUE。2月のDJバスター最後はDJ ALAMAKI様にタプリー飲んでいただきました。さあさらなる進化を遂げようとしているこのPARTYから目が離せません、インタビューも必読です!!

HARLEM GIRLS SPOTLIGHT



Kendrick Lamar Story...

ヒップホップを超えたリリシスト。

— ショートフィルム(短編映画)と題された彼のリリックとそのサウンドはジャンルを超え、世界中の絶賛を得た。

1988年、黒のサングラスにさらにドス黒い仏頂面を引っさげ、N.W.A.が「Straight Outta Compton」を手にシーンに登場して以来、『CPT』ことコンプトンは、あらゆる暴力、貧困、そして残酷さを世に知らしめる街として見なされてきた。

トップ・ドッグ・エンターテインメント/アフターマス・エンターテインメント/インタースコープ・レコードの所属アーティスト、ケンドリック・ラマーが生まれたのは、このアルバムがリリースされる1年前の1987年、コンプトンがまさに無秩序状態にあるときだった。しかし、ケンドリックはその当時のコンプトンで生まれ育ったものの、自分が無秩序状態の中育ったという自覚はないという。

「ああ、確かに俺たちは貧しかった。だが、そんなふうには見えなかったね」と彼は淡々と語る。彼の両親はシカゴから西海岸のこの街へと越してきた。「典型的な暮らしだったよ。母さんは生活保護を受けながら、ケンタッキー・フライド・チキンで働いてたし、父さんはストリートでやることやって何とかやりくりしてた。そんな状態でも、両親は俺を養ってくれてたし、大人になって結構苦労したんだなってわかったけど、それでも俺は普通のガキでいられたし、人並みに生きてこれたからね。」

ケンドリックは自身の幼少期を、映画『ポケットいっぱいの涙』の主人公『ケイン』に例える。少年時代に育った自宅は、夜になるとホームパーティーの会場にもなり、アイズレー・ブラザーズの「For the Love of You」から、ボーン・サグズン・ハーモニーの「Foe tha Love of \$」まで、ありとあらゆるBGMをバックに、ダンスゲームやパーベキューが繰り広げられた。まさにギャング映画を演じるような思春期ではあったが、ケンドリックがドラッグの密売人やギャングの構成員になることはなかった。

「非行に走らずにいられた唯一の理由は、親父が常にそばにいて、常に俺の生活に目を向けてくれたからさ。親父に言われたんだ。もし俺が自分のやったことで痛い目に遭っても、親父のところへ逃げ帰ってくるな。わかったか? と。実際そういう場所にも数回行ったことはあるが、自分の友達が集ってハッピーになって、一生ムショ暮らしになるのを目の当たりにしたら、俺は親父の言うことを聞いて本当に良かったなと思ったんだ。そこで学んでから俺はさらに頑張ったし、戯れに生きるのはやめたんだ。」まさに激動の少年時代ではあったが、音楽と出会ったことにより彼の人生は変わっていく。

DMXのデビュー・アルバム「It's Dark And Hell Is Hot」に感化されたケンドリックが、自分でライムを書き始めたのは13歳のときだった。3年間、彼はジェイ・Zやビギー、NASといったラッパーたちを研究し、その過程を通して、自分自身のサウンドを見つけていくのであった。そして2002年の夏、16歳になったケンドリックは初めてレコーディング・ブースへと足を踏み入れる。そこでは自分の曲を録るだけではなく、彼の周りに起きていたギャング同士の激しい抗争から逃れるための安全な避難所にもなっていた。「とにかく逃げたかった。」とケンドリックは告白する。「あそこ(ブース)に入って、ラップして、自分の声を聞いた瞬間から、俺はコイツに夢中になっちゃった。つまり10年生(高校1年生)から、ずっとマジメにやっけてるわけさ。」そして1年後、彼は自身初のアルバム「Youngest Head Nigga In Charge」を制作し、地元

のレーベル、トップ・ドッグ・エンターテインメントのCEO、アンソニー・ティフィスの手にその作品を委ねることとなる。実はケンドリックの知らないところで、ティフィスはすでにそのCDを入手し、彼を探っていたのだった。そして初めて顔を合わせたとき、ティフィスはケンドリックに2時間のフリースタイルという試験を課した。彼はその試験に難なく合格し、すぐに契約にこぎつけたのだ。たちまち「K-Dot」として名を馳せたケンドリック。「Training Day」、「C4」といった2本のミックステープをリリースし、たくさんの名声を得ていく一方で、徐々に自我が芽生え始めていく。「ある朝、目覚めたら、自分がやりたかったことをやれていないような気がしたんだ。俺はまだ学びの途中で、この世界での自分の役割を見つけて出ようと必死だった。自分の目的が何なのか、自分でも解ってなかったんだ。このコンプトンで育ったあ



の小さなガキ(自分自身)をその気にさせるために、何か違うことをやらないとダメだと思ったのさ。俺は自分の物語を語りたかった。好きか嫌いかは別としてね。だから俺は、もう一度最初からやり直したかったんだ。俺の本名でさ。それでこそリアルってもんだろう? こうしてケンドリック・ラマー名義で初めてリリースされたのが、彼の代名詞ともいえるシングル「P&P」、「She Needs Me」を収録した2009年に発売された「Kendrick Lamar EP」だ。続いて2010年「Michael Jordan」、「Cut You Off」といった強力なシングルを擁する「Overly Dedicated」がリリースされた。

そしてリリース日直後ケンドリックは一夜にして、多くの人達から愛されるラッパーとなったのだ。「自分でもビックリだったよ。世間からこんなにも受け入れられるとは思ってなかったんだ。前は違ったからね。いっそう気分が良かったよ。本当の俺自身だったわけだからさ。俺にとって自分のストーリーを語るのとは容易なことだった。ストリーートのくだらない出来事なんて語りたくないし、人殺しについてもラップはしたくないね。そもそも俺に人を殺めた経験なんて無いわけだし。」

それから1年の間にケンドリックは、アメリカ中のクラブやフェスでパフォーマンスを披露し、知名度は上がる一方だった。さらにドクター・ドレーやヌープ・ドッグのお墨付も得て、新人ラッパーなら誰もが欲しがらるヒップホップ誌『XXL』の名物企画「2011 Freshman Class」にも選出された。2011年7月に待望のデビュー・アルバム「Section.80」をリリースする頃には、すでに「新世代を代表する声」という栄冠を手にしてたのだ。

3人兄弟の長男でもあるケンドリックはこう語る。「俺は自分の世代や、俺の弟たちの代弁者だったんだ。ロナルド・レーガン以降の時代に大人になった奴らの物語を語りたかった。俺の世代はまさにドンピシャだからね。みんなが2パックを避けて通れないのと同じように、レーガン時

代っていうのも(俺たち以降の世代には)深く関連してると思うんだ。」「Section.80」がケンドリックの2パックなら、彼のインタースコープからのデビュー作「good kid, m.A.A.d city」は、彼なりのラングストン・ヒューズの作品と言えるかもしれない。リード・シングルの「The Recipe」、今作中に共演しているゲームやドレイク、リック・ロス等とも同等に渡り合うその姿は、アメリカにおける西海岸のヒップホップの見方を変えるだけでなく、世界においてヒップホップ全体の見方に変化を与える久々のビッグ・アーティストの誕生を予感させている。「何を語れば一番クールなのかっていうと、かつてはギャングスタのことだった。だが今は違う。本当にクールなのは、自分の家族を支えることについて語ることさ。」と彼は言う。N.W.A.がヒップホップ・シーンにコンプトンの旗を立ててから24年、彼らの選した(アティテュード)に順応する後継者が新たに地元から現れたのも、至極当然な流れと言えよう。



Kendrick Lamar
“good kid, m.A.A.d city”
2013. 3. 6 On Sale 2CD: UICS-1264/5 ¥2,980(Tax Incl.)



春限定

“ピーチ”&“氷結”フェア!!

- ❁ ピーチウーロン (ピーチ+ウーロン)
- ❁ ファジーネーブル (ピーチ+オレンジ)
- ❁ エキサイトブラック (ピーチ+コーラ)
- ❁ ピーチフィズ (ピーチ+ソーダ+レモン)
- ❁ ピーチモーニ (ピーチ+グレープ+トニック)

通常価格
¥700

FAIR PRICE
¥600

HARLEM
MEMBER
¥500



- ❁ 氷結グレープフルーツ
- ❁ 氷結早摘み すだち&かぼす

通常価格
¥600 → FAIR PRICE
¥500

THE HEAVY HITTER

■最新作「The Finest Golden Best of 2012-2013」の聴き所を教えてください。

前作でWarner Musicの最近のヒット曲使っちゃったので、選曲が大変でした。でも前よりも他社の代表曲を貸してもらえたりで、なんとか納得の一枚に仕上げられたと思っています。コンセプトは「The Finest」っていうWarner Musicの有名コンピシリーズの2012-13 Bestを僕がいかに料理するかって感じなんですけど、今回は前回よりも僕っぽさは出せたんじゃないかなと思ってます。PCで繋いであるだけのMIX CDじゃなくて手作り感たっぷりの生っぽいMIXを楽しんでもらえたらと思います。

■エクスクルーシヴ曲の「SHOW IT OFF / DJ Lead feat. Jim Jones, Ai」はどのような経緯で制作する事になったのですか？

きっかけは話をもらう前から次にCD出すなら「またみんなが驚くような曲」を出したいと思って、色々好きなラッパーにオファー出していたら「Jim Jones」がOKしてくれて、トラックを聴かせたら気に入ってもらえたので、Jimだけ先に録りました。そのあと、HIP HOPビートだけどみんなが歌って踊れるような曲にしたかったのと、全世界64カ国でリリースが決まっていたので、英語でなおかつ日本人がよかったのでAIちゃんしか思い浮かびませんでした。でAIちゃんにお願いしたらOKもらって、僕の意見や方向性を電話で伝えて、何回かやりとりして、そこからこっぴで構成組み直したり色々して完成って感じですかね。

聴き所はやはり、全体の音の鳴りというか、US物と一緒にかけても全然違和感ないし、「Put Ur Hands」じゃなくてベースも口ずさめる所が一杯あるし、自然とフロアが盛り上がるような曲だと思います。



■2012年は日米以外にも、ヨーロッパ・アジアと地球規模での活躍の年でした。活動の規模が広がる中、常に意識する事はありますか？

変わらない気持ちは『絶対ロックしたんねん』っていう気持ちです。ロックしたんねんというか、みんなをハッピーにしたんねんの方がニュアンスは近いですかね。2013年はすごい年になりそう、NYやEUROツアーもちょこちょこ決まってきましたが、僕のDJ人生においてHeavy Hittersに入った事よりヤバい事が起ころうとしています。もうこの号が出る頃には発表されるかもです。

■自分の曲が全世界60カ国以上の人々に配信されるという現在の状況を、音楽を始めた時想像されていたか？

そのころは配信とかなかったので全然想像してなかったですが、まあ今は配信しただけで売れるか売れないかは別ものなので、もっと注目されるような事をコンスタントにやっていて、他の国の人も自然とチェックしてしまうようなDJになりたいです。

■HARLEM MAGAZINE読者へメッセージをお願いします。HARLEM MAGAZINEはDJの読者が多いと思いますが、僕がそうであったように地方出身で地方にいなながらも頑張ればHARLEMでまわせる可能性のある時代です。いい時代だ〜。DJじゃなくてもなんの仕事でも『頑張れば〜頑張れば〜』(SHINGO☆西成: Voice) HIP HOP聴きまくって人生楽しんでいきましょう〜。



DJ LEADメジャー第2弾発売決定!

The FINEST "Golden Best Of 2012-13" - Mixed by DJ LEAD from The Heavy Hitters

誰も待ち望んだ「The FINEST」シリーズから遂に年間ベスト盤が解禁! 世界トップDJだからこそ実現したこの1枚! "2012-13"を代表するアーティスト完全網羅!! 2012年みんな歌って! 踊って! プチ上がった!! ベスト・クラブ・ヒットソングから、2013年間間違いなくフロアの鉄板ソングとなる最新ヒット・ソングまで完全網羅!

【収録曲】
DJ LEAD feat. ジム・ジョーンズ & AI / フロー・ライダー / ウィズ・カリファ / B.o.B / ショーン・ポール / NAS / コモン / ジェイソン・デルーロ / クリス・ブラウン / MMG 他...

Now On Sale !!

定価 ¥2,580 (税抜 ¥2,457) / WPCR-14789 Warner Music Japan



新曲をThe FINEST "Golden Best Of 2012-13"に独占収録!

DJ LEAD / Show It Off (feat. Jim Jones & Ai)

あの「Jim Jones (ジム・ジョーンズ)」をゲストに迎えDJ LEADが新曲をDrop!! しかも、日本からは...まさかのAI(アイ)が降臨!!!! DJ LEADが世界にその名を轟かす歴史的な一作になることは間違いないでしょう。決してお聴き逃しのないようにお願いします。

Now On iTunes Store !!

-YouTube CM-

The FINEST "Golden Best Of 2012-13" - Mixed by DJ LEAD
<http://youtu.be/kLGRw2jDkc4>

DJ LEAD - Show It Off (feat. Jim Jones & Ai)
<http://youtu.be/zESlV6AUJMY>

DJ LEAD The FINEST "Golden Best Of 2012-13" Release Japan Tour!

- ・3/01 (金) 大阪 club AZURE
- ・3/02 (土) 京都 BUTTERFLY
- ・3/03 (日) 名古屋 iD Cafe
- ・3/08 (金) 東京 HARLEM
- ・3/09 (土) 東京 axxcis
- ・3/15 (金) 大阪 OWL
- ・4/13 (土) 福岡 complex@MILLS (IBO/D)

★全会場にて商品購入特典あり★

2/6リリースのThe FINEST "Golden Best Of 2012-13" mixed by DJ LEADの商品お買い上げの方は、商品ジャケットor 商品帯をご持参頂くと入場無料!

- ・未成年の方の入場はお断りしております。
- ・ご入場の際には全員のIDチェックを行っております。
- ・必ず【写真付き身分証明書】をご持参下さい。
- ・Drink代は別途かかります。

-Info-

<http://www.sugarbitz.com>
<http://www.djlead.com/>
<http://wmg.jp/artist/thefinest/WPCR00014789.html>



The Week End Playlist

Selected by DJ HAL, DJ SAH
from Every Friday Party "PUNCH OUT!!!"



by DJ HAL

"Long Live A\$AP" A\$AP Rocky



今年の顔になるか？
6月22日に来日も決まったA\$AP。楽しみですね！
今もっともお洒落なニューヨーカー50人で1位に選ばれるなど、様々な分野でも注目を集める存在でかなり影響力があります！
そしてこの曲はSkrillexとのコラボでかなりビートがぶっ壊れてます！
かなりドープなイメージが強かったA\$APですが、これはかなりのパーティーチューンで大好きです！

"Scream & Shout Remix" Will.i.am feat. Britney Spears, Diddy, Lil Wayne, Waka Flocka Flame & Hit-Boy



大ヒット中のあの曲のリミックス！
大箱で聴きたくなるような曲で、超トラップしててスッカスカでとてもカッコイイです。
倍速でオリジナルへ自然に戻れるし、使い勝手が良くてカッコイイ曲です。
個人的にはこのリミックスの方が好きですね、特にWaka Flocka Flameのパートは間違いなし！

"Nuclear" Destiny's Child



久々に復活したデスチャからの先行シングル！
先月のNFLスーパーボウルのハーフタイム・ショーも半端なかったですね！
3人揃って"Bootylicious"はかっこ良かったです！
見てない人は是非チェックしてみてください。
プロデューサーはPharellで、誰もが耳にした事のあるブレイクビーツに爽やかなサウンドが乗っかってかなり気持ちいい曲です。
最近リリースの少ないBPM110辺りなのも嬉しいですね。しっかりと時間に聴きたい曲ですね。

"Love Jihad" SKIP&DIE



昨年リリースされた"Riots In The Jungle"の中からの1曲です、最近ジワジワきてるので紹介！
次世代のM.I.A.を匂わす独特な雰囲気のある1曲です。
適度なドラムベース感にどこかアラビアかアニメで聴いた事のあるような笛音が癒になります。
アルバム自体も民族感満載で面白いです。
こういった変わりモノも上手く調理して、フロアを盛り上げたいですね！

"Locked Out Of Heaven" Bruno Mars



ワイハー出身の天才シンガーソングライター。
2枚目となるアルバムはタイトル通りまさに"Unorthodox Jukebox"!!!
この曲を初めて聴いたときから頭から離れません、これは"Michael Jackson / Beat It"路線だ！いや、それ以上に良い！そしてエロい！彼の持つ声が根本的に好きなのは間違いないけど、更に曲がヤバすぎる。
最近主流のBPMだけど、しっかりと本人の世界観が出ていてMTVでPVが流れない日はないくらいです。
個人的にはこの先もずっと聴けるBruno Marsの最高傑作ですね。

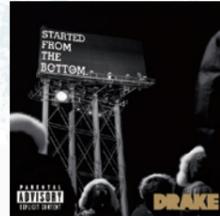
by DJ SAH

"Wild for the Night" A\$AP Rocky feat. Skrillex & Birdy Nam Nam



とりあえず【祝】初来日公演！日本でもあっという間に人気者になった印象を受けます。
そんな大注目目の彼の最新曲は、ダブステップで有名なあのSkrillexが手掛けてます！お互いの良い所が見事にマッチした仕上がりになってますね。
ガンガン飛び跳ねて、頭振っちゃってください！

"Started From The Bottom" Drake



去年はあまり目立って活動してなかった彼ですが、今年はやってくれるんじゃないかなって思わせるようなシングルをリリースしてくれました！
シンプルなトラックなんですが、歌声とぼちりハマって何度でも聴けちゃいます。早い時間からでも気持ちよくプレイできそうですね。
ここからは今最も旬なプロデューサー"Mike Will Made It"特集～
(本当は全曲よろうかなって思ったくらい。)

"Bugatti" Ace Hood feat. Future & Rick Ross



まずは久々のエイスフュー♪少し前にMIX TAPEリリースしてましたが、既に次のアルバムに向けて始動してる模様。
そして、この曲が1stシングルになる？みたいです。
とりあえずヤバすぎなFutureフックで始まり、切れ切れなAce Hoodのフロウにヤラレマス。
そして、最後にボスの登場！
リック見ると、売れたら売れたで色々大変そうですね…。けど、彼らはまだまだTRILL (True & Real)です！

"Show Out" Juicy J feat. Young Jeezy & Big Sean



現在"Bands A Make Her Dance"がフロア大爆発中ですが、2ndシングルが到着！この曲のフックにはYoung Jeezyが!!!
こちらも良い仕事してますね。中毒性のあるトラックに、フックの「Everytime I go out～」ってフレーズが何度も繰り返されるので、この曲を聴き終わった頃には、頭の中でループしてることでしょう(笑)。
アルバムも近々発売されるみたいなので期待して待ちましょう！

"Pour It Up" Rihanna



ラジオ等でパワーブッシュされてたこの曲がシングルでリリース！
以前紹介した"Diamonds"みたいな品の感じの曲ではなく、ラップ顔負けのハーコーなリリックでガンガン攻めてきます。
パブリー(死語?)な感じの遊びっぷりがこの曲で伝わってきますね。
色々できる幅広さとバランスが彼女の魅力でもあるんでしょうね。

Edited by Yas 5 All photos provided courtesy of Yas 5th, Tats Cru, Real 3, Chino, Okuda
Special thanks to Tats Cru, Nicer, Bio, BG 183, How, Nosm, RAL, Brim, Kenn, Shame 125, Vulcan, Just 195, Totem 2, Gold, Dr.Revolt, Lazoo, Kongo, Juan, Gokan, Pwoz, Orus(R.I.P), Vision, Soklak, Mac Crew, Jazi, Won, Shame, ABC, Dmote, Daze, Crash, Lady Pink, Smith, Seen, Duster, Futura, Mare139, Nasa Crew, Zedz, Doze, West, Dash, Wane, Nesm, Kaws, Claw, Chino BYI, Real 3, Burner Familia, Nekst(R.I.P), Okuda, GSB, Big Pun (R.I.P), Kosmopolite, Meeting Of Styles, Overkill, Whole Train, Style Wars, Creative Color, Montana Hardcore, Montana 94, Posca, Uni, Krylon, Painter's Touch, Ironrak, Crash Paint, Molotow, Krink, Blubber Colors, Rust-oleum, World Piecebook, Ami, Ghoon Mafia All Day, Grandmom, Chilli
yas5ive@f7.dion.ne.jp

これぞ渋谷HIPHOPの金字塔！

1997年の創業以来、シーンを牽引し続ける
HIP HOP/R&Bの聖地！渋谷HARLEM。
日本を代表するトップDJ4人が競演した
15周年を記念するオフィシャル・ミックスCD登場！

HARLEM -15TH ANNIVERSARY-

Mixed by DJ HAZIME, DJ WATARAI, DJ SAH, DJ HAL

15年の歴史がこの1枚にコンプリート！
"2CD NON-STOP MIX" In Stores Now!

DISC-1 [DJ HAZIME & DJ WATARAI]
Pete Rock and C. L. Smooth / A.D.O.R. / House Of Pain / The Notorious B.I.G. / Ol' Dirty Bastard / Sean Paul / Onyx
Busta Rhymes / Brandy & Monica / Junior M.A.F.I.A. / Faith Evans / Das EFX ... etc.

DISC-2 [DJ SAH & DJ HAL]
Lil Jon / Wiz Khalifa / Meek Mill / Gucci Mane / DJ Khaled / T. L. / Sabi / Chingy / Tyga / Estelle
Trey Songz / Jason Derulo / Lupe Fiasco / Fabolous ... etc.

WARNER MUSIC JAPAN THEFINEST HAZIME HARLEM thefinest.jp www.harlem.co.jp

Flavor of the Month

寒い中がお過ごしでしょうか。

風邪はもちろんのこと、ノロウイルスやインフルエンザまでも流行っているようですね、毎年のことながら。私自身、幸いにもインフルエンザにはこの数年かかった記憶はございませんが、丁度去年のこの時期に元気ハツツ巨人OB、絶対調、中畑清(現DeNA監督)がまさかの監督就任早々頭頂の春季キャンプでインフルエンザをヤッターマンになってしまったのも記憶に新しいですし、野球選手もDJも体が資本ですから、日々の体調管理には十分気をつけたいものです。

TECHNICS SL-1200

さて去年の暮れの話ですが、DJにとっての大事な物的資本のひとつである我が家のターンテーブルTECHNICS(テクニクス)のSL-1200MK3Dが、通常の33/45回転ではなく急に100回転くらいのスピードになったり突然止まったりと、かなりヤバい状態に陥りました。一過性ではなく頻発になるものですからこれはもう寿命と考えるべきでしょう。

思い起こせばDJを始めた当初、SL-1200 MK3を使用していましたが、それから3・4年後に弟に無理矢理交換を強いてゲットしたMK3Dに乗り換えてからは十数年… コスッたりなりにやられて使っているときがにそうなりますよな。むしろよくもったほうです。さすがのMADE IN JAPANクオリティー、十二分に減価償却を果たしてくれました。

そんなTECHNICS(テクニクス)のSL-1200シリーズ、歴史はかなり古く、1972年の発売以来、DJおよびクラブ業界の標準機とも言える地位を確立して今なお世界中で使われています。しかしながら、ご存知の方も多いと思いますが、2010年、MK6を最後に生産中止となっております、新品で手に入れるのはなかなか難しいのが現状です。



現時点でマイナテは不穏な動作ながらもなんとか動くので、買い直すのがおっくうというもあってとりあえずはまだ使っておりますが、MIX制作等する際にはだいぶ難ありな状態なので、近日中に買い換えねばと思っております。で、最近色々調べてるわけなんですけど、本当に無いんですよ。中古の場合だと、実際買って状態があまりよろしくなかったり、不具合がある可能性も高いので、信用出来る中古店からメンテナンス済みのものを購入しなければなりませんし、修理という選択肢もありますが、話によるとかなりの高額で、普通に美中古品を探して買ったほうが安くつくようです。当方は今現在でもレコードも買ってますし、これからもタンテは必要不可欠なので、どこかいい中古楽器店もしくは修理屋をご存知の方がいらっしゃいましたらぜひ教えてください。

PIONEER DDJ-SX

そんな自分のアナログな状況をよそに、現在ラップTOP DJ用のソフトに対応したフィジカルコントローラーが各社から続々リリースされております。

新たにDJを志す人間の大半は、もうレコードもCDも飛び越えてラップTOPから始めるというも当たり前前の時代だと思いますが、ターンテーブルでもなくCDJでもない、コントローラーを買うのが主流となってくるでしょうし、クラブ等のシステムも今後こういったものに移行してくると思うので、どこかのメーカーも未来のTECHNICS SL-1200シリーズを目指すべく、しのぎを削っているというのが現状でしょう。その中でも、CDJやミキサーでおなじみのPIONEERから去年の暮れにリリースされたSERATO DJ用のコントローラー「DDJ-SX」ってのが個人的にかなり気に入ってます。

コントローラーとしてはもちろんのこと、ミキサーとしてもター



Written by DJ Ken-Ske
from Every Tuesday at BX CAFE "ROYAL FLUSH"



今月の一品

肉刺盛(都内某所)

上から時計回りで牛ハラミ、豚レバ、牛タン、豚ハツ、コブクロ。

このラインナップは鮮度や品質管理に自信がある証でしょう。

最高でした。

こんなご時世なので、お店の名前・所在地等は伏せてさせていただきます。



今月の一曲

Philadelphia International All-Stars
- Let's Clean Up The Ghetto

せっかくなので最近購入した中古盤をご紹介します。1977年作のディスコ・クラシック。クレジットどおりのそうそうたるメンツ。ゲットーについて歌っていらっしゃいますが、下手なラップよりメッセージが響きます。再発は持っておりませんが、念願のオリジナルUSプロモでゲット!



以上、全くモテないネタでしたね。それではまた来月☆

"HARLEM 15TH ANNIVERSARY HISTORY BOOK" PRESENT



第2次プレゼント応募受付開始!

HARLEM MAGAZINE読者20名様にプレゼント。

お名前/ご住所/電話番号/メールアドレスを明記の上
3月20日(水)までに [present@harlem.co.jp] までご応募ください!
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

エロめし。



朝まで抱かれ続ける!! "チキントマトクリームパスタ" vol.03



【ヤーマン弘田】

日本料理屋で4年間、洋食屋で2年間修行。調理師免許、ふく受講書取得。2011年よりHARLEM STAFF史上初の料理長に就任、同時にBX FOODの総合プロデュースを開始。

料理の作れない女の子救済企画。ヤーマン弘田が上から目線で送りする「エロめし。」第3回目! という事で誰も求めてないのにやって来たで〜。そういえば最近テレビで、男が結婚しようとする女の子の第1位は、やはり料理がおいしい人って言うてたけど、やっぱりそうや!! 今、作らんへん人も「エロめし。」見て作ったら作れるようになるから、おっさんに任しとき〜。それでは今月の料理は【チキントマトクリームパスタ】や! なんでパスタかと言うと、男がマンネリせず、付き合ったあの頃と変わらず、1日に3回戦くらいやってしまう若かったあの頃をずっと続けたかったら3つの条件がある。

壹.ムダ毛、脱毛は怠らない。貳.下着にはこだわり続ける。参.パスタが作れるよーになる。この3つや! 間違いない! お前どんだけ上から目線で言うてんねん!! ってか訳わからんわ!!! って声が聞こえてきてますが、全ては「エロめし。」を見てるあなたの為やー!!! ガタガタ言うてへんと作ってみなはれ! それではレシピの方をどうぞ♪ (※注意:これを食べると明日にでも結婚しようと言われる可能性があります。生半可な男には出さないように注意しましょう。)

【材料(マンネリしてしまって最近ではキスもしなくなっちゃったカップル2人分)】

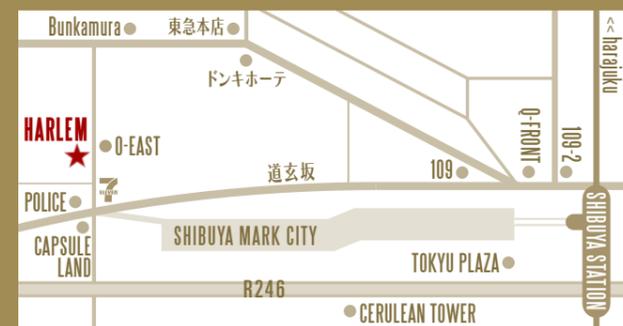
- ・玉ねぎ: 1/2個 ・ニンニク: 1片 ・鳥もも: 150g ・パスタ: 200g
- ・グラニュー糖: 25g ・コンソメ: 8g ・生クリーム: 100cc
- ・ホールトマト缶: 400ml ・オリーブオイル: 適量 ・塩: 適量 ・ブラックペッパー: 適量

【作り方】

- ①: オリーブオイルをフライパンにひき、スライスした玉ねぎとスライスしたニンニクを炒める。
- ②: 塩、コショウした鳥ももをフライパンに入れて一緒に炒める。
- ③: その上からトマト缶を入れグラニュー糖を入れる。トマトが煮たら、その上から生クリームとコンソメ、塩2つまみ、ブラックペッパー1つまみ入れる。ソースの完成や!!
- ④: 鍋に水を3ℓ入れ、沸騰したら塩を5つまみ入れる。
- ⑤: 購入したパスタのジャケ裏を見て何分湯がいいたらいいか確認して湯がく! (※ここで注意! パスタはほくししながら湯がかないと麺がくっつくので長いお箸でほくしながら湯がきましょう。)
- ⑥: パスタが湯がいたら、フライパンに入ってるソースを温めてパスタを投入! 絡めて味をしなが塩、ブラックペッパーをお好みで入れて完成や!!!



- 【募集職種/アルバイト】
- [1] バーテンダー: バーで飲み物を提供します。
 - [2] ホール: 灰皿交換などホール全般のお仕事です。
 - [3] 音響・照明: 機材回りの管理、音響と照明のオペレートです。(経験者優遇)
 - [4] キャッシュヤー: フロントでお金や備品の管理など事務的なお仕事です。
- 勤務地: CLUB HARLEM (渋谷区円山町)
■勤務期間: 6ヶ月以上長期で働ける方歓迎。
■勤務時間: 20:00~翌6:00 シフト制 週3日以上で応相談
■待遇: 交通費支給(1万円迄)、制服貸与、食事補助、昇給随時
■給与: 時給900円以上、試用期間3ヶ月は時給850円
■条件: 20歳以上30歳以下。未成年不可。
※応募の方は、いずれもホームページ/携帯サイトからエントリーして下さい。



DR. Jeekahn's 2F, 3F, 2-4 Maruyama-cho, Shibuya-ku Tokyo, 150-0044 JAPAN Phone. 03-3461-8806 e-mail. otaken@harlem.co.jp

●ご注意●
※HARLEMでは未成年の方のご入場は固くお断りしております。
※ご入場の際には、写真付の身分証明書の提示をお願いしています。予めご了承下さい。

MONTHLY "HARLEM MAGAZINE"
SPIT'EM OUT!
"It's Absolutely Raw"
This Magazine gives y'all Hip Hop Headz the Real Words from the Real Scene...
Volume.060・Issue.187・MAR. 2013

Publication: Otanoshimi Kenkyujo Inc. 6F, 2-1-10 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150-0022 Japan Tel. 03-5768-4910 Fax. 03-5767-4912 e-mail. otaken@harlem.co.jp
Editor in Chief: Atsushi Nukazawa Editor: Akiko Sasaki, Nobuhisa Mikasa, Kohji Tamura, Shoki Sato Art Direction&Design: Takashi Wakamatsu-Camel D.F.
Special Thanks: DJ Ryo / DJ Lead / DJ Hal, Sah / Yas5 / DJ Ken-ske / Ya-man Hirota & All HARLEM Peoples
Contents & Design may not be reproduced without the express permission of the Publisher. ©2013 Otanoshimi Kenkyujo Inc. All rights reserved. Printed in Japan.

■いきなり菅野の20勝あるぞ! 今季はスタートからぶっつきって100勝してしまうのでは?! [ヒカル]
■インフルは免れました。予防接種様々です。それにしても、買った加湿器のメンテが面倒。やっぱりタバコがいけないのか。[ピー]
■人生初のゴールド免許がもらえるらしい。なんかウレシ〜。前向きな気分を更新行きのモチベーション。[うに?]
■やっとあったBLACK SHEEP 5"8" FLEXLITE-TURBOの威力。どんなもんか。早く試してみたいな。[t.n.t]
■R.I.P Nujabes... ハーレム出演時のフライヤーを入手出来なかったのが非常に悔やまれます。[ID番長]
■さき)リーグ開幕! 今年の清水はいいかなんか!? 期待して見守りたいと思います! [RYUGI]